
1. 寄稿

『小学校3年生向け「交通環境学習副読本」と「教師向け指導書」について』

【札幌市まちづくり政策局総合交通計画部都市交通課都市交通係

佐々木 健市】

このたびは、平成26年度の「JCOMM マネジメント賞」に引き続き、平成28年度「JCOMM デザイン賞」を受賞することができ、大変うれしく光栄に思います。

札幌市では、平成23年度に策定された札幌市総合交通計画において、モビリティ・マネジメントを今後の公共交通利用促進の施策として位置付けてきました。

特に、小学生のうちから公共交通の重要性等について学ぶことは非常に重要なことと考え、平成23年度から3年間にわたって交通エコロジー・モビリティ財団の支援を受けて、札幌市におけるMM施策の核として、「小学校における札幌らしい交通環境学習推進事業」を実施し、研究授業や指導案の作成等を行ってきました。

平成26年度には本事業を継続的に実施し、MMを推進していくため、札幌市市教育委員会及び教諭からなる「札幌らしい交通環境学習プロジェクト」を設置し、研究授業のほか、小学校3年生を対象とした副読本「私たちの暮らしを支える公共交通」を作成しました。そして、平成27年度には、副読本の「教師向け指導書」を作成するなどの取組を進めてきました。この研究授業の指導案は、平成26年度改訂の「札幌市小学校教育課程編成の手引き」（各学校が教育課程を編成する際の指針として活用するもの）に掲載され、副読本も併せて紹介されたところです。

この副読本は、学習指導要領に基づき、対応する単元の学習で活用できるような構成とし、札幌市に関係する資料を中心に掲載することで、子どもにとってより身近に感じられるようにしました。

また、指導書は、授業の目標やポイント、授業の流れがわかる内容を掲載するとともに、板書のイメージを掲載し、採用間もない教諭でも活用しやすいものとししました。さらに、授業対応ページをインデックスで表記し、見開きのしやすさにも考慮しました。

その他、授業用の指導案や資料等は、札幌市のHP※に掲載し、誰でも自由に使用できるようにしており、平成28年度は、交通環境学習の授業に関する資料・素材等を作成・収集し、HPの充実を図っていくこととしています。

※札幌市HP <http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/gakusyu.html>

札幌市としましては、今後も札幌市教育委員会及び教諭と連携しながら、交通環境学習を推進して参ります。

※本寄稿は、下記URLからファイルとしてダウンロードしていただけます。

http://www.mm-education.jp/magazine/MMedu_mailmaga20.pdf

2. 交通環境学習の取り組み

(1) 交通環境学習開催のお知らせ

■小田急グループ「ファミリー鉄道教室」など夏休み企画「小田急グループ 親子体験イベント」を開催

7月23日～8月20日、小学生と保護者を対象に、バスに正しく乗るための安全教室をはじめ、なりきり運転士・整備士さん体験、洗車機体験をする「『きゅうた』と学ぼう～バスの乗り方教室～」や電車の仕組みや、運転士・車掌さんのお仕事紹介、洗淨線での乗車体験をする。また、電車の安全運行、乗車マナーについても楽しく学ぶ「ファミリー鉄道教室」など沿線の環境について学べるイベントを開催する。

http://www.odakyu.jp/program/info/data.info/8432_6721051_.pdf

■山口県山口市「公共交通教室(バスの乗り方教室)」の参加団体を募集

山口市公共交通委員会(事務局：市交通政策課)は、バスの利用促進やお出かけの手段を増やすため、「公共交通教室」の参加者を募集。募集・開催期間は平成28年12月末まで。対象は高齢者団体、市内小学校、PTA、子ども会など。

<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/cms-sypher/www/service/detail.jsp?id=19795>

■神奈川県横浜市環境創造局「環境教育出前講座」の受講者を募集

小・中学校や地域の皆様を対象に、市職員・企業・NPOなど専門知識を持った職員等が皆様の元に出向き講義を行う「出前講座」を実施している。交通環境学習に関しては「電車、バス、クルマ・・・どれがエコ？」を用意し、電車、バス、クルマ、自転車といった、いろいろな乗り物と地球温暖化との関係を学び、地球にやさしく、人にも便利な、かしこい移動のしかたを考える。受講者募集期限は平成29年2月28日(火)まで。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kyouiku/demae/>

■神奈川県茅ヶ崎市、小中学校等を対象に市職員による出前授業メニューを作成

茅ヶ崎市環境政策課は、子どもたちの環境意識の向上に向けて、小中校等を対象に、総合的な学習の時間、理科、社会等の学習にご活用できる、市職員による出前授業メニューを用意し、電気自動車同乗体験などの出前講座を紹介している。

http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/003/366/demaemenu.pdf

■福岡県福岡市はまちづくりを市民と進める「出前講座」を実施中

福岡市は、まちづくりを市民と進めるための取り組みの一つとして、市の職員が地域に伺い、市の取り組みや暮らしに役立つ情報などを説明する「出前講座」を行っている。交通については「これからの交通計画」「乗って！支えて！公共交通～生活交通の確保について～」を用意している。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/demae/10-koutsuu.html>

(2) 交通環境学習開催報告

■「バスの乗り方教室」を開催

(東北)

福島県郡山市「春の親子バスの乗り方教室 in イオンタウン郡山」を開催

郡山市建設交通部総合交通政策課は4月16日、イオンタウン郡山西側イベント広場で、福岡交通の路線バス車両に親しんでもらい、「バスの乗り方」について理解を深めてもらった。

<https://www.city.koriyama.fukushima.jp/303500/documents/busnorikata.pdf>

(関東)

茨城県日立市立滑川小学校は6月7日、日立電鉄交通サービスの協力を受け、2年生の親子学習会で「バスの乗り方教室」を実施した。バスに乗るときのマナーをDVDを使って観賞し、保護者と一緒にバス試乗を行った。

<http://www.city.hitachi.lg.jp/namekawa-e/003/003/p052658.html>

(中部)

広島県府中市教育委員会は4月14日、府中市立府中明郷小学校の通学バスを利用する児童(小学1と2年生80名)及びその保護者を対象に、バスの乗車体験教室を開催した。バスの安全な乗降、バスの死角、バス周辺の危険箇所について、実際のバス2台を使用し、警察官やバス会社職員が説明しながら、児童に安全なバス乗車を指導した。

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/police-fuchu/oshirase122gyoujibus.html>

(四国)

伊予鉄道は4月14日、愛媛大学教育学部附属小学校の1年生95名に「電車・バスの乗り方と公共交通マナー教室」を開催した。公共交通機関としてのCSR活動の一環として平成24年度から毎年実施している。電車・バスの乗り方や車内で守ることなどスライドを使った講義と実際の路線バスとICカードを使った乗車体験を行い、車内およびその周辺の危険や乗車マナーについて学んだ。

http://www.iyotetsu.co.jp/topics/16/manner_school_es.html

(九州)

福岡市住宅都市局公共交通推進は6月1日、昭和自動車と協力して小学校2年生、4年生の38人を対象に「バス教室 in 今津小学校」を開催。地域に欠かせない交通手段となっているバス路線(西の浦線)の利用促進を図るため、乗り方教室、車いすで乗降体験、死角体験、乗車体験を行った。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/53459/1/basukyousitu.pdf>

■京都府京丹波町立竹野小学校、交通学習(バス出前授業) & ようこそ1年生遠足を実施

京都府交通政策課、京丹波町企画政策課、JRバス、竹野活性化委員会が連携して4月28日に開催した。1年生は地域を走るバスの役割や乗車しやすい工夫、バスの仕組みや高齢者や障害者に対する接客などについてJRバス運転手から話を聞いた。その後、JRバスで丹波自然運動公園へ遠足に出かけた。

<http://www.kyoto-be.ne.jp/takeno-es/cms/index.php?key=joxzhhg99-183>

(3) その他

■モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)を実践される小中学校を募集(9月30日まで、当日消印有効)

エコモ財団では、「クルマ社会の渋滞問題や環境問題」、また「地域の電車・バス等(公共交通)の利用促進や廃線問題」などを題材として実践される先生方を応援します。

http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html

■交通環境学習手引書改訂版を発行

エコモ財団では、教員の方が参考にさせていただけるよう、実施可能な教科や学年を整理するとともに、学習構成の他、学習指導要領に合わせた指導目標や教材とする利点などを取りまとめた手引書を作成しました。

手引書：http://www.mm-education.jp/pdf/mm-edu_tebiki.pdf (28.8MB)

手引書(概要版)：

http://www.mm-education.jp/pdf/tebiki_summary.pdf (5.8MB)

■乗り方教室用のパネルの作製について

中国運輸局では、平成28年度のキーワードを「公共交通利用促進」と定め、様々な取組を行うこととしています。その第1弾として、子どもたち向けの「乗り方教室」や「環境学習」等の出前講座に重点的に取り組むこととし、幼稚園・保育園や小学校で実施する際に使うためのパネル6枚を作製しました。

<https://wwwtb.mlit.go.jp/chugoku/release/160614001.html>

3. ニュース/トピック

■神奈川県川崎市交通局「ギャラリーバス」を大幅に増車

川崎市の市バスでは4月12日から、市立小学校の児童が描いた絵画作品を展示して運行する『ギャラリーバス』を各区2両、7区合計で14両に大幅に増車した。この他にも、川崎区役所主催の「交通安全絵のコンクール」応募作品を展示するギャラリーバスや中原区役所主催の「マナーモラルアップポスター」作品を展示するギャラリーバスも運行する。

<http://www.city.kawasaki.jp/820/page/0000045165.html>

■伊勢志摩サミット期間中、「みえエコ通勤デー」を特別実施

三重県と三重県バス協会はサミット期間中(5月25~28日)、三重県警から呼びかけがあり、「公共交通機関の利用」「マイカー利用の自粛」を促進するため、「みえエコ通勤デー」を特別実施。サミット終了後、毎週水曜日の「みえエコ通勤デー」は継続して実施している。マイカー通勤者が乗合バスで通勤をすると、「エコパ(みえエコ通勤パス)」の提示でバス運賃が半額になる。

<http://www.eco.pref.mie.lg.jp/details/index.asp?cd=2016030243>

■長崎県営バス「バスのお絵かき」を企画

長崎県営バスは、子どもたちが描いた絵を運行中のバス車内に展示する。この取組に参加希望する学校・団体様を募集中だ。描くテーマは自由。通常、3か月間の展示を予定している。

<https://www.keneibus.jp/novelty/torikumi/default.html>

■三重県の伊賀鉄道、『ギャラリー列車』を運行中

保育所(園)や幼稚園の幼児が作成した絵画を車内に展示した『ギャラリー列車』を運行中。青忍者列車【ゆめが丘保育所】は7月1日~7月20日、ピンク忍者列車【白鳳幼稚園5歳児】は6月24日~7月13日に運行する。

<http://www.igatetsu.co.jp/cat82/>

■静岡文化芸術大学×遠州鉄道コラボ企画、浜松出身少女漫画家制作ポスターで沿線店舗をPR

静岡県の遠州鉄道は6月23日から、静岡文化芸術大学の学生で、プロの少女漫画家でもある浜松市出身の香坂ヒロ先生がデザインしたポスターを車内・駅に掲出する。遠州鉄道のCSR活動の一環として、地元大学生との協同制作を行うことで、若い才能の成長を応援するとともに、鉄道沿線の商店様の発展に貢献することを目的としている。

http://www.entetsu.co.jp/release/20160620_entetsu.pdf

■梅花女子大学×大阪モノレールブログ

大阪高速鉄道と梅花女子大学情報メディア学科ファッション情報研究室は「エレガントなモノレールライフ」と題して、学生がモノレールの沿線情報などをブログで配信中だ。梅花女子大学のホームページにあるコラボブログバナーからブログページを読むことができる。

<http://www.osaka-monorail.co.jp/baika/>

■文化学園大学×小田急電鉄「訪日外国人旅行者向け 新宿エリアPR企画」プロジェクトを始動

文化学園大学と小田急電鉄は、7月7日より、「訪日外国人旅行者向け 新宿エリアPR企画」プロジェクトを本格的に始動する。2020年に向けて一層のインバウンド需要が見込まれる新宿エリアへの誘客を強化するPR施策を、国際観光学を専攻する学生や外国人留学生ならではの視点を生かし、自由な発想で企画する。

<http://prt-times.jp/main/html/rd/p/000000129.000012974.html>

■第8回 EST 交通環境大賞の応募を開始【EST 普及推進委員会】

EST 普及推進委員会及びエコモ財団では、地域の交通環境対策に関する取り組み事例を発掘し、優れた取り組みの功績や努力を表彰する EST 交通環境大賞の募集を開始しました。以下のウェブページをご覧ください、全国各地で交通環境対策に取り組まれている自治体、企業、市民団体等の皆様が応募されることを期待しています。

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotai-sho2016.html>

■第13回エコプロダクツ大賞募集開始【エコプロダクツ大賞推進協議会】

エコプロダクツ大賞推進協議会は、環境負荷の低減に配慮したすぐれた製品・サービス（エコプロダクツ）を表彰する「第13回エコプロダクツ大賞」を実施します。本表彰は、すぐれたエコプロダクツを表彰することを通じて、エコプロダクツの供給者である企業等の取り組みを支援し、わが国におけるエコプロダクツの開発・普及の促進を図るとともに、エコプロダクツに関する正確な情報を需要者サイド（事業者、消費者等）に広く伝えることを目的にしています。

http://www.gef.or.jp/ecoproducts/13th_bosyu.htm

4. イベント、フォーラム、セミナー等の開催内容

●第8回土木と学校教育フォーラム

日時：2016年8月28日（日）9:00～17:00

場所：土木学会（講堂、A, B 会議室）

主催：土木学会（東京都新宿区）

共催：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

<http://committees.jsce.or.jp/education04/>

●全国一斉造船所・船用事業所見学会を開催

～この地球で一番大きな工業製品『船』を見に行こう！！～

日時：2016年7月上旬～8月中旬

場所：全国の造船所及び船用工業事業

募集対象：事業所所在地域に在住する小中学生及びその保護者

主催：（一社）日本中小型造船工業会

http://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji05_hh_000098.html

●「国土交通 Day」親子見学会

日時：2016年8月3日（金）9:30～16:30

場所：①東京運輸支局②東京国際空港（羽田空港）

募集対象：小学校とその保護者（2名1組）

内容：①「自動車の検査コースを見学」②「子ども航空教室」

主催：関東運輸局

https://wwwtb.mlit.go.jp/kanto/press/date/1606/0622/gr_p160622.pdf

●船上講座 in 横浜 ～ 船に乗って勉強ができちゃう！？～

日時：2016年8月13日（土）、14日（日）

いずれも10:00～12:00もしくは13:30～15:30

場所：横浜港内

募集対象：10歳～15歳（保護者同伴）

主催：関東運輸局

https://wwwtb.mlit.go.jp/kanto/press/date/1606/0630/mv_p160630.pdf

●交通・観光カーボンオフセット支援システム説明会

日時：7月28日（木）13:30～16:00

場所：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター4階「カンファレンスルーム 4A」

主催：エコモ財団

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/data/setumeikai_16.7.28.pdf

- 第 6 回地域の交通環境対策推進者養成研修会
日時：2016 年 10 月 26 日（水）～28 日（金）
場所：仙都会館 8 階 会議室など
主催：EST 普及推進委員会、エコモ財団、国土交通省東北運輸局
<http://www.estfukyu.jp/training2016.html>

- 関西鉄道むすめ&萌キャラスタンプラリー
日程：2016 年 8 月 31 日（水）まで
主催：関西鉄道会社 8 社局（近江鉄道、大阪モノレール、京都市交通局、京阪電気鉄道、京福電気鉄道、泉北高速鉄道、北神急行電鉄、和歌山電鐵）
<http://tetsudou-musume.net/contents/special/kansai-rarry2016.php>

- くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2016
日時：2016 年 10 月 29 日（土）、30 日（日）
場所：東洋大学白山キャンパス
主催：くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会
<http://zenkokuforum.jimdo.com/>

- エコプロ 2016（第 18 回）
日時：（1 日目）2016 年 12 月 8 日（木）10：00～18：00
 （2 日目）2016 年 12 月 9 日（金）10：00～18：00
 （3 日目）2016 年 12 月 10 日（土）10：00～17：00
場所：東京ビッグサイト 東ホール
主催：一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社
<http://eco-pro.com/2016/>

